

【第 17 回 ASEAN 日本人商工会議所連合会と ASEAN 事務総長との対話】参加報告



ASEAN 日本人商工会議所連合会（FJCCIA）とは、ブルネイを除く ASEAN 9 か国にある 10 の日本（人）商工会議所により構成され、2008 年発足。2025 年 6 月現在の会員総数は 7,304 社に達し、ASEAN 域内最大の連合組織。発足から毎年、ASEAN 事務総長とビジネス環境の改善などを求めて対話を実施。本枠組みは、投資環境改善に加えて、日本企業と ASEAN 事務局の相互理解の促進や協力関係の構築に役立っており、ASEAN 事務総長も重要視している。

今年は、7 月 28 日と 29 日に、「FJCCIA 年次総会」並びに「第 17 回 FJCCIA とカオ・キムホン ASEAN 事務総長との対話」がジャカルタで開催された。議長会議所であるベトナム日本商工会議所のほか、ASEAN の 9 カ国 10 会議所の代表者が集い、米国の関税措置など主要国の政策介入や保護主義による先行き不透明感が高まる中、今後の日 ASEAN の連携強化について議論した。

FJCCIA は、2025 年 5 月に ASEAN 首脳により採択された、ASEAN 経済共同体（AEC）ブループリント以降の方針を定めた「AEC 戦略計画（2026～2030 年）」に記載された目標の達成に向けて、ASEAN と共に取り組むべき要素を中心に提言を行った。具体的には、

- （柱 1）「強靱なサプライチェーン」、
- （柱 2）「グリーン経済とサステナビリティ」、
- （柱 3）「デジタル経済とイノベーション、新興技術」、
- （柱 4）「包摂的な ASEAN」

という 4 つの柱に沿う形で提言をした。同計画が掲げる、ASEAN 域内および域外パートナーとのコネクティビティの強化、人的資本の共同開発に向けたエコシステム構築、オープンイノベーションの推進、持続可能性の向上、デジタル上の課題への対応など、幅広い分野で連携することで、ASEAN の競争力強化に貢献したいと考えている。

シンガポール日本商工会議所の橋本和俊会頭は、一昨年に引き続き、電子商取引における模倣品・海賊版対策の積極的な推進を改めて要望した。クリーンかつ安全な電子商取引を実現するために、ASEAN 事務局より、加盟国の知的財産庁および関連執行機関に対し、電子商取引プラットフォームに関する知的財産権保護のために、官民との協力を強化する覚書(MoU)の作成を後押しするようお願いした。

カオ総長からは、FJCCIA ビジネスリーダーに感謝の上、提言を踏まえ、以下のような回答があ

った。更に、今後は政治的・経済的対話を通じて、提言を実際の成果へと結実させるべく努力すると表明した。

➡経済統合とサプライチェーンについて

ASEAN は関税撤廃や通関デジタル化を進め、サプライチェーンの効率化と競争力強化を実現している。ASW 2.0 など新技術導入により、貿易手続きの時間短縮とコスト削減を加速させている。

➡貿易パートナーシップについて

ASEAN は日本を含む FTA 網を拡大・高度化し、RCEP やカナダとの交渉を通じて市場開放と新たな経済連携を強化している。これにより、域内外での競争力と市場アクセスを拡大している。

➡グリーン経済と持続可能性について

ASEAN は再生可能エネルギーや電動モビリティ導入を進め、エネルギー連結性と持続可能な成長を目指している。民間部門の知見と技術革新が、環境基準やグリーン経済推進の鍵となっている。

➡デジタル・トランスフォーメーションについて

ASEAN のデジタル経済は急成長しており、DEFA や UBIN を通じて安全なデジタルトレード環境と中小企業の国際連携を促進している。2030 年には経済規模が 1 兆ドルに達すると見込まれている。

➡人材育成について

ASEAN は技能訓練や資格の相互承認、人材流動性の促進を重視し、帰国労働者の再統合にも取り組んでいる。これらは地域経済の強靱性と持続的成長を支える基盤となっている。

本対話の運営を支援する機関として、ジェトロの片岡副理事長は、日 ASEAN の経済共創を真に実現するため、ASEAN 各国政府や企業と、現地に進出している日本企業や日本政府を巻き込んで、双方にとって win-win となる協力を実現するために活動を強化していきたいと述べ、今後の具体的な協力の方向性とジェトロの取組として、「サプライチェーンの再構築と多様化」「デジタル分野での協力強化」「グリーン分野での協力強化」を紹介した。

【実施概要】

- ・日 時：2025 年 7 月 29 日（火） 9 時 30 分～12 時 00 分
- ・場 所：ASEAN 本部（ジャカルタ） 国際会議場
- ・主な出席者：

（ASEAN 事務局からの出席者）

カオ・キムホン ASEAN 事務総長

ASEAN 事務局職員（幹部支援課、市場統合局企業・利害関係者関与課、対外経済関係課）

（日本側からの主な出席者）

① FJCCIA 関係者

若林浩一 FJCCIA 議長（ベトナム日本商工会議所 会頭）

笠井信司 FJCCIA 幹事（ジャカルタ ジャパン クラブ 理事長）

佐藤弘康 FJCCIA 幹事（バンコク日本人商工会議所 会頭）

阿部一郎 FJCCIA 議長顧問（JETRO バンコク事務所長）

福原弘次 カンボジア日本人商工会 会長

松本知己 ラオス日本人商工会議所 副会頭
鳴釜宏充 マレーシア日本人商工会議所 会頭
黒川聖治 ミャンマー日本商工会議所 副会頭
野村一洋 フィリピン日本商工会議所 会頭
橋本和俊 シンガポール日本商工会議所 会頭
久米邦英 ホーチミン日本商工会議所 会頭

他 FJCCIA 加盟商工会議所事務局長 等

② 日本政府関係者

中條一夫 ASEAN 日本政府代表部 公使（臨時代理大使）

片岡 進 JETRO 副理事長

羽田 由美子 経済産業省通商政策局アジア大洋州課長 ほか

【FJCCIA 年次総会・交流会】7 月 28 日 17:30 ～20:30 於：ジャカルタ（AYANA ホテル）



【FJCCIA と ASEAN 事務総長との対話】7 月 29 日 9:30 ～12:00 於：ジャカルタ（アセアン本部）



以上